

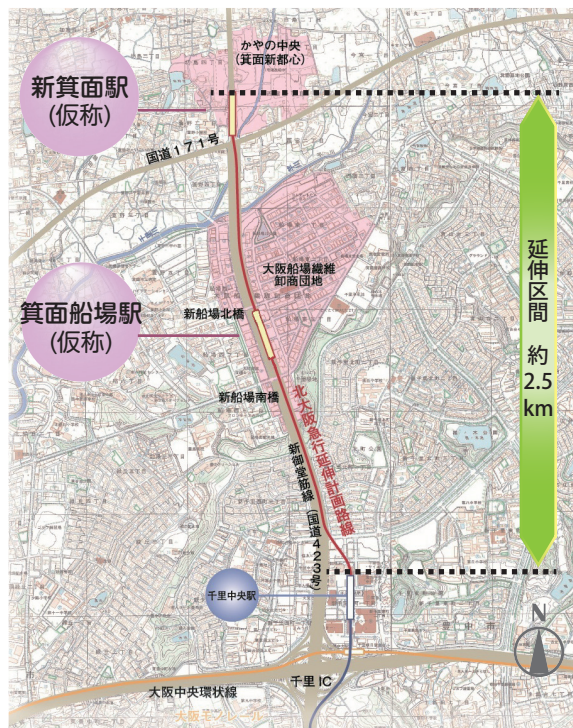
きたきた通信

No. 17



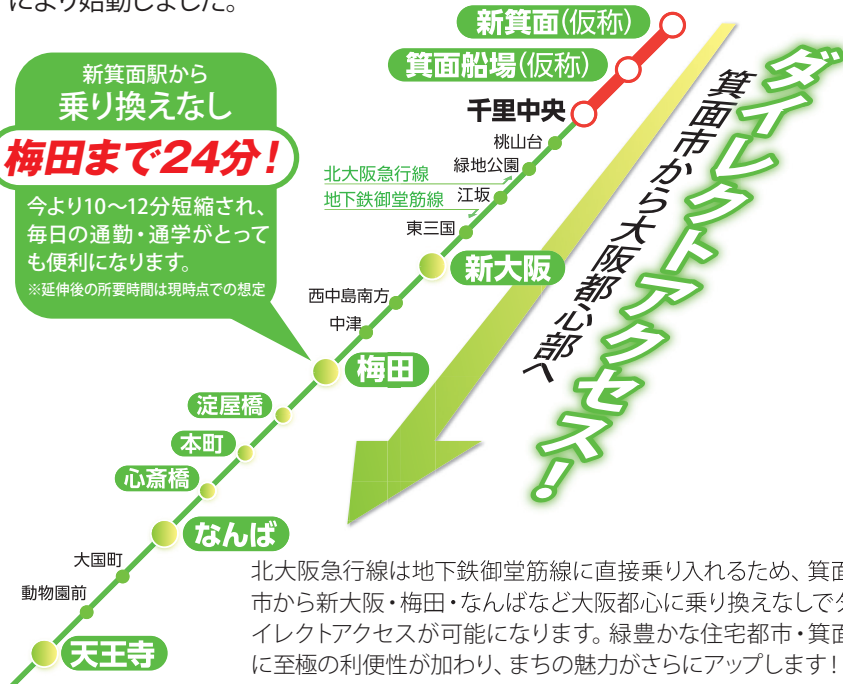
本パンフレット中、新駅の名称はすべて仮称です

北大阪急行線 延伸事業、進行中!

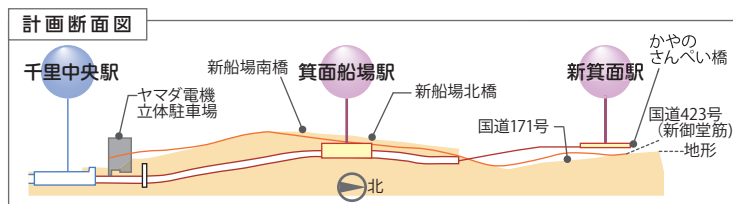


北大阪急行線を現在の千里中央駅から北へ2.5km延伸し、新駅を2つ作る“北大阪急行線延伸事業”が、平成26年3月、関係4者による基本合意の締結により始動しました。

新箕面駅から
乗り換えなし
梅田まで24分!
今より10～12分短縮され、
毎日の通勤・通学がとっても
便利になります。
※延伸後の所要時間は現時点での想定



北大阪急行線は地下鉄御堂筋線に直接乗り入れるため、箕面市から新大阪・梅田・なんばなど大阪都心に乗り換えなしでダイレクトアクセスが可能になります。緑豊かな住宅都市・箕面に至極の利便性が加わり、まちの魅力がさらにアップします!



かやの中央周辺(中部)→梅田		梅田まで 10～12 分短縮!	
これまで	バス11分 乗換5分 車4分 乗換10分	新箕面	鉄道24分
延伸後は	新箕面	鉄道24分	計24分
		千里中央	計36分 計34分
		梅田	

開業目標 2020年度!

各種手続きが進められています

2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 H31	2020 H32
事業調査								
測量 地盤調査 基本設計			2013年度末 基本合意					
			現在					
			概略設計					
			詳細設計					
			許認可手続き					
			工事施行認可 事業認可					
			・特許・事業許可 ・都市計画決定					
			準備・工事					
			開業目標					

今号のトピックス

工事着工に向けて
着実に進んでいます!
→P.2へ

阪大箕面キャンパス
が箕面船場に!
→P.4へ



駅近だけじゃない！まち全体が便利に・元気に！



工事着工に向けて、着実に進んでいます！

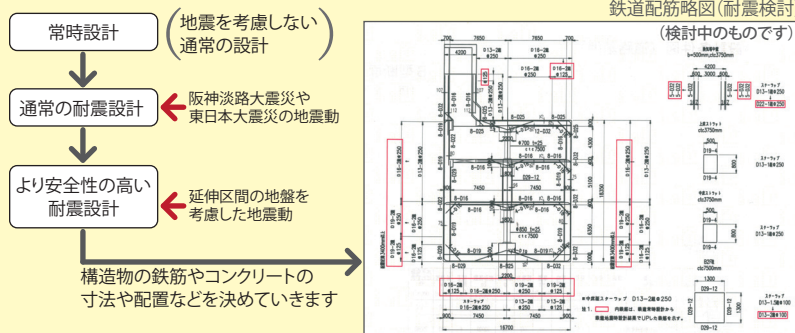
これまでの動き

～2013年度 (～平成25年度)	2014年度 (平成26年度)
基本設計 鉄道が通るルート(線形)やトンネルなどの構造について大まかに設計し、概算工費を算定しました	概略設計 基本設計を基に測量などを行い、具体的なトンネルの大きさや橋の形式などを決定しました
ボーリング調査(第1次) 延伸区間の沿線で地質を調べるためのボーリング調査を実施しました	交通量調査 工事による周辺交通への影響等を精査するため、交通量調査を実施しました
基本合意を締結 平成26年3月、大阪府、阪急電鉄(株)、北大阪急行電鉄(株)、箕面市が延伸について合意しました	測量 延伸区間全体の測量を実施しました
	ボーリング調査(第2次)

今、2015年度(平成27年度)こんなことをしています

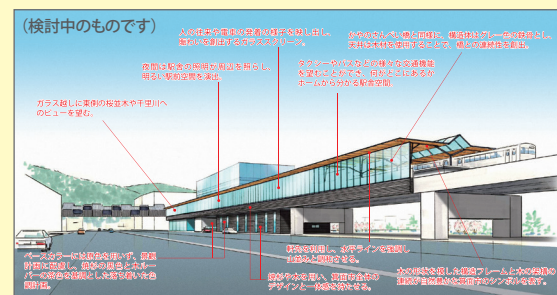
より安全性の高い詳細設計を進めています (工事に必要な設計図を作成する、設計の最終段階です)

国が求める「設計標準」に基づいて詳細な設計を行っています。特に耐震設計では、標準的な設計に加え、延伸区間の実際の地盤を考慮した地震動(予測される揺れの強さや向き)を使用して、より安全性を高めた設計を実施しています。

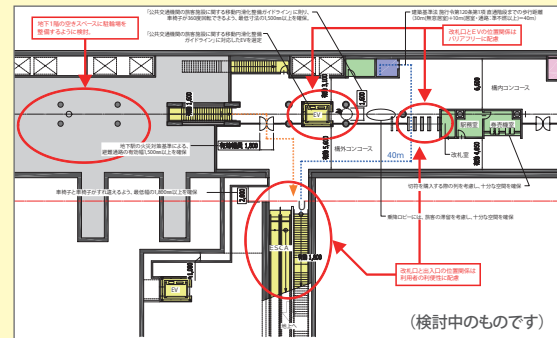


駅舎デザインや内部レイアウトの設計を行っています

利用者の動線や利便性、周辺のまちとのつながりや調和などに配慮して、駅舎のデザインや駅内部のレイアウト(エレベーターや改札の位置など)の検討を進めています。



駅舎が地上にできる
新箕面駅のデザイン案



地下駅となる
箕面船場駅内のレイアウト案

2016年(平成28年)秋の工事着工をめざして、手続きを進めています。

夏ごろから新駅周辺建物の解体などが始まります。工事により、ご不便・ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力くださいますようお願いいたします。

特許・許可や都市計画の手続きを進めています

鉄道を延伸するために必要な、国の特許・許可の申請、大阪府や箕面市の都市計画、環境アセスメントなど、様々な手続きを進めています。

鉄道事業法許可申請と軌道法特許申請

鉄道事業が成り立つかどうか、鉄道事業者の経営状況や延伸への投資などについて国が総合的に審査します。

5月15日 北大阪急行電鉄(株)から国土交通大臣宛てに鉄道事業法許可と軌道法特許を申請
▶ 平成27年度中に許可・特許を取得できる見込みです

都市計画手続き

都市計画とは、道路や都市公園、下水道などの都市インフラがどこに配置されるべきかを法的に位置付けるものです。

延伸線が通る場所を大阪府と箕面市の都市計画審議会で審議します。

5月17・18日 箕面市で都市計画説明会
5月29・30日 豊中市で都市計画説明会
6月30日 大阪府都市計画公聴会
10月頃 都市計画案の縦覧・意見書提出(大阪府・箕面市)
▶ 平成27年度中に都市計画決定される見込みです

環境アセスメント(環境影響評価)

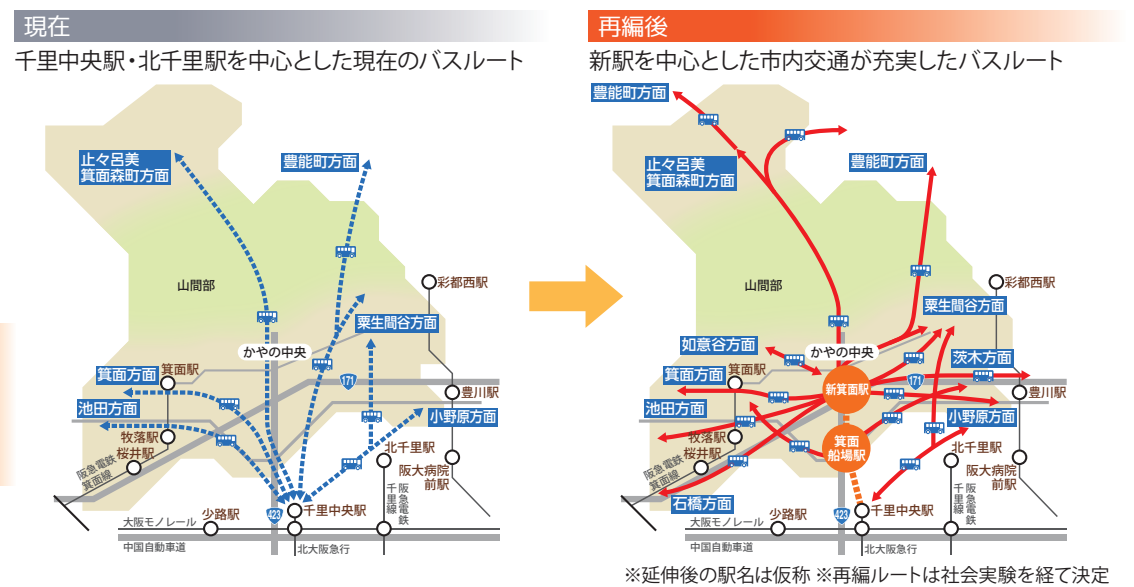
鉄道が周囲の環境に及ぼす影響(騒音、振動、日照障害、電波障害など)について評価し、報告書を提出しました。

4月30日 準備書提出
6月29日 環境影響評価委員意見書受領
7月6日 報告書提出

バス路線が再編され、東西の移動がスムーズに！

バス路線は主に「駅と駅」「住宅街と駅」を結ぶため、延伸により新駅を中心にルートが再編されます。市街地の真ん中に駅ができることにより、東西方向の移動利便性が格段に良くなります。

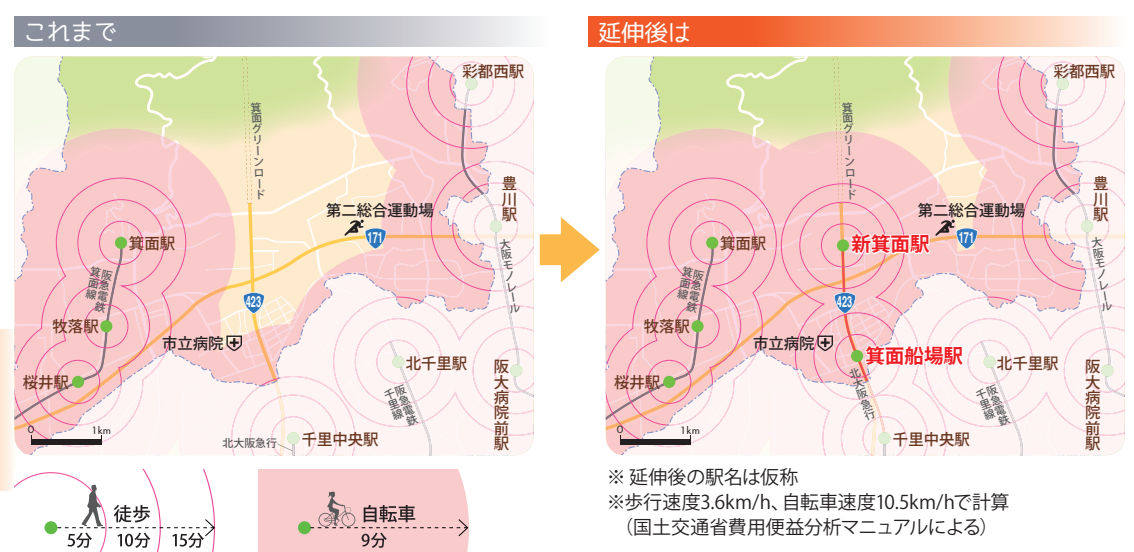
延伸によるバス路線再編のイメージ



駅まで徒歩／自転車圏が増える！

延伸により、市街地の真ん中に駅が2つできて、駅まで徒歩・自転車で行けるエリアが大幅に増え、市街地の大部分が「駅まで徒歩・自転車圏」になります。

延伸による徒歩・自転車圏の広がりイメージ

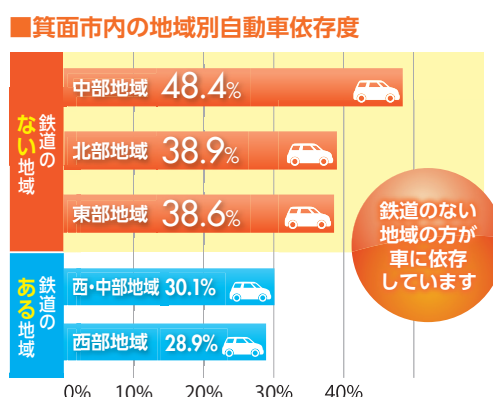
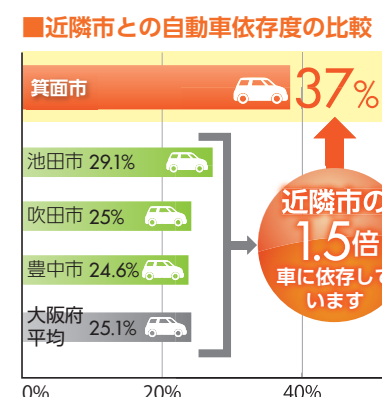


箕面市は自動車依存度が近隣市の1.5倍

箕面市は、市街地が東西に細長いのに鉄道が西部地域にしかなく、東西方向の移動も不便なため、自動車依存度が近隣市に比べて高くなっています。

鉄道延伸で、高齢になっても暮らしやすいまちへ

鉄道とバスの両方が便利になることで自動車への依存度が下がり、高齢のかたも、子どもたちも、誰もが安全で暮らしやすいまちになっていきます。





進んでいます 新駅周辺のまちづくり

箕面船場駅（仮称）

箕面船場駅は地下駅で、地下3階がプラットフォームになります。駅出口は国道の東側にできるため、国道をまたぐ歩行者デッキを設置します。

保健医療・スポーツ・文化を核に

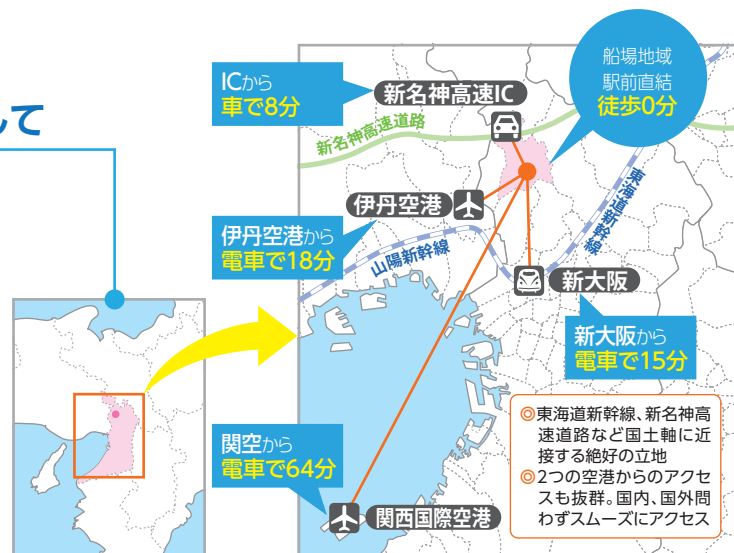
保健医療・スポーツなどの健康機能と、公共ホールなどの文化機能を備えた複合施設構想の具体化をめざしています。

新御堂筋をまたぐ歩行者デッキ

駅出口は国道の東側にできるため、新御堂筋をまたぐ歩行者デッキを設置し、西側からの利用者の利便性を確保します。

ビジネス拠点としての高い価値を活かして

船場地域は、箕面市で唯一高いビルが建設できる地域です。新駅ができることにより得られる高いアクセス性を活かして、新たな企業集積などをめざしています。

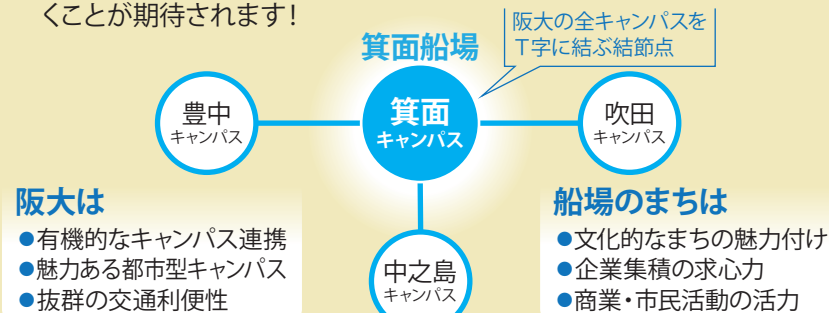


箕面船場のまちづくりが動き出しました！

新着
topic

大阪大学箕面キャンパスが箕面船場に！阪大と箕面市が合意しました

大阪大学と箕面市は、平成27年6月、阪大箕面キャンパスの箕面船場駅周辺への移転と総合的なまちづくりに向け、両者が協力して事業を進めることに合意したと公表しました。キャンパスの移転により、新駅周辺がさらに活気づくことが期待されます！



互いのメリットを最大限に活かすまちづくりの実現



現在の阪大箕面キャンパス

（仮称）新箕面駅

新箕面駅は2階建てで、2階がプラットフォームになり、かやの中央の賑わいの中に接続します。

新箕面駅イメージ

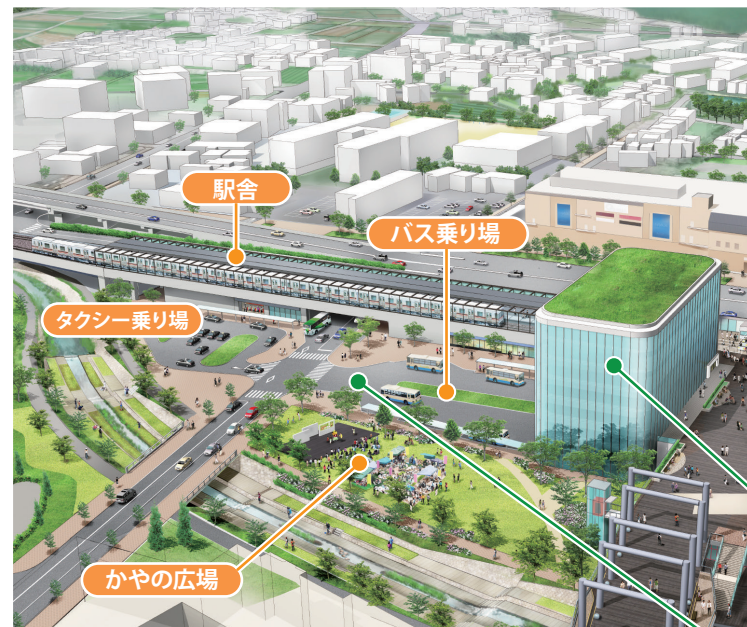


集客力のある施設を整備

バス乗り場の上空を立体利用して「子育て」を核とした新しい施設を作り、まちの魅力をいっそう引き出します。

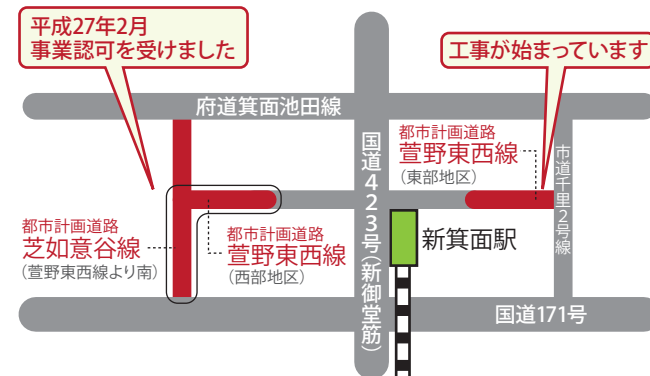
交通広場・駐輪場・道路を整備

新たにバス乗り場や駐輪場を整備します。また、駅周辺の都市計画道路の整備にも着手しています。



鉄道延伸後も、萱野地域の豊かな田園風景を守り育てます

新駅ができる萱野地域は、市街地に貴重な農地が残る緑豊かなエリアです。箕面市では、鉄道延伸後も、山なみとまちなかの緑を大切にきた箕面を象徴するまちとして、この萱野地域の「身近な緑」を守り育てていく方針です。



市民ホールの移転先の最終候補地に選ばれました！

建築から約半世紀を経過し老朽化した箕面市民ホール（現グリーンホール）を移転新築することが決定され、箕面船場駅周辺がその移転先の最終候補地に選ばれました。現ホールと同規模の1000～1200席規模で、抜群のアクセス性を活かして市内外からの集客をめざしています。



移転するのはホール棟のみで、多くの方にご利用いただいている会議棟は、引き続き現在のまま活用されます。

保健医療・スポーツ施設の検討が進んでいます

産学官連携で先進的な健康機能施設の整備を検討するため、平成26年2月に「関西スポーツ科学・ヘルスケア総合センター（仮称）関係者連絡協議会」が発足し、協議が進められています。

土地区画整理事業が進められています

船場地域では、新駅周辺のまちづくりを進めるため、土地区画整理事業が進められています。平成26年6月には「箕面船場駅周辺土地区画整理事業準備組合」が発足し、事業計画の作成などが進められています。



延伸がもたらす 広域効果

鉄道延伸の効果は、大阪全体にも。

北大阪急行の延伸は 広域的な効果を生む

北大阪急行線の延伸は、約2.5kmの短い距離ですが、北大阪エリア全体の活性化、大阪全体の鉄道ネットワークの形成など、広域的な効果を生む事業として、国と大阪府の計画等に沿って進められています。

北大阪急行線の延伸が位置付けられた 国・大阪府の計画等

国の運輸政策審議会答申第10号

平成元年

国の運輸政策審議会答申第10号（「大阪圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本計画について」）において、「北大阪急行南北線の延伸線 千里中央～箕面中部」が「目標年次(西暦2005年)までに整備に着手することが適当である区間」と位置付けられました。

国の近畿地方交通審議会答申8号

平成16年

国の近畿地方交通審議会答申第8号（「近畿圏における望ましい交通のあり方について」）において、「京阪神圏において、中長期的に望まれる鉄道ネットワークを構成する新たな路線」として、「北大阪急行南北線延伸 千里中央～箕面船場～新箕面2.5km」が位置付けられました。

「グランドデザイン・大阪」

平成24年

変化し躍動する大阪の今後の方向性と、大都市・大阪の都市空間の姿を示した「グランドデザイン・大阪」（大阪府市統合本部）中、「鉄道ネットワークの充実」の項において、北大阪地域と大阪都心との直結を図る施策として「北急延伸」が位置付けられています。

大阪府「公共交通戦略」

平成26年

大阪府の都市としての魅力向上や府民の暮らしの充実を図る公共交通に関する取り組みの方向性を明示した「公共交通戦略」において、整備について個別の検討に入る路線の一つとして、北大阪急行線の延伸が位置付けられています。

大阪の南北軸の強化

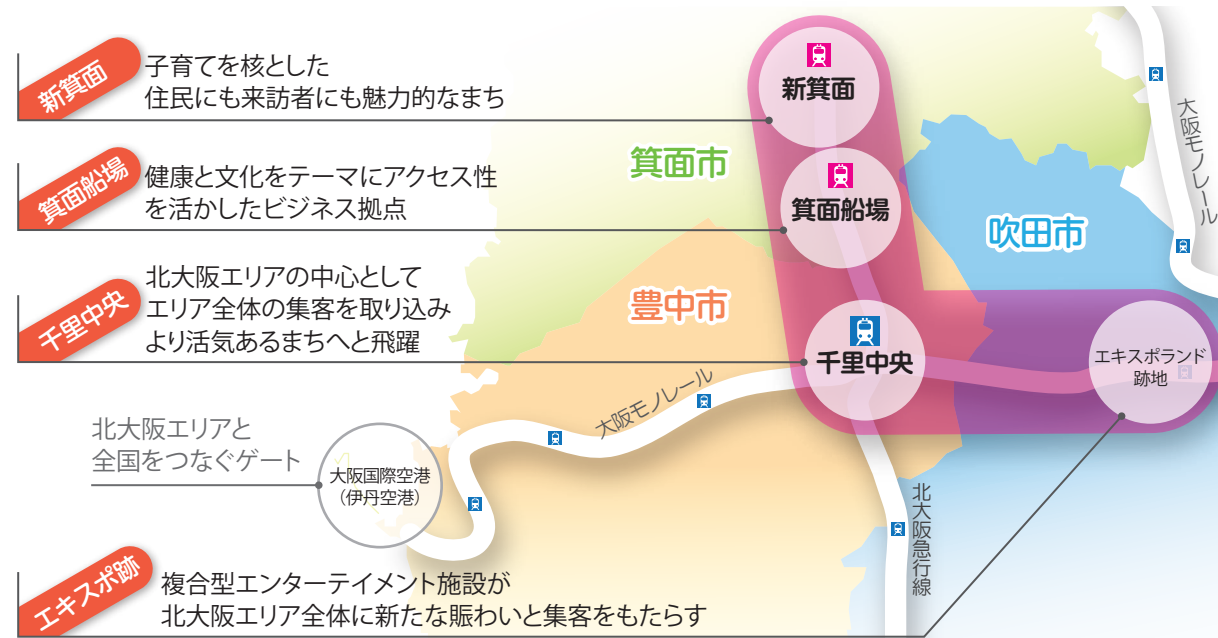
南北に長い大阪は、新幹線や名神・新名神高速道路などの主要な「国土軸」と北大阪地域で接しています。北大阪急行線延伸により大阪の南北軸が強化されることで大阪全体の活性化につながるとともに、北大阪地域は関西北部から関西国際空港へのダイレクト輸送の発火点になります。



北大阪エリア全体の発展をめざして

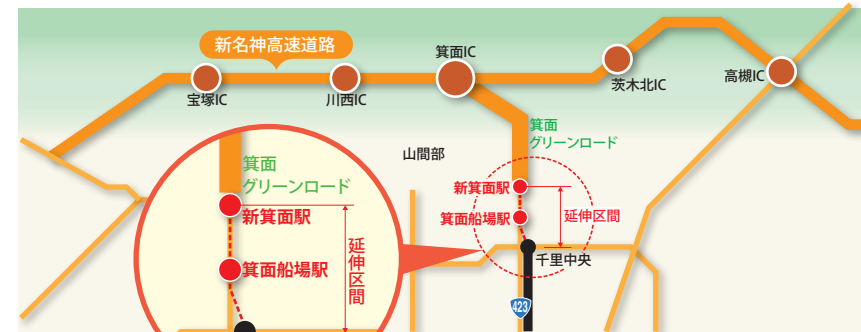
各駅が機能分担した個性あるまちづくり

それぞれの駅周辺が、地域性や歴史を踏まえた個性あるまちづくりを進め、機能分担していくことで、エリア全体の活性化が期待されます。

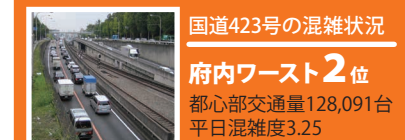


新御堂筋の渋滞を緩和

平成28年度に開通する新名神高速道路は、混雑する名神高速道路・中国自動車道を多重化し、東西国土軸を貫く主要ルートの一つとして大きな流れを形成します。多重化される神戸～高槻間には「宝塚」「川西」「箕面」「茨木北」の4つのインターチェンジができますが、このうち大阪都心への広域アクセス道路に接続しているのは「箕面」だけであり、箕面グリーンロードから大阪都心に向けて大きな物流の動きが生まれます。



一方、新御堂筋(国道423号)は、現在でも大阪府内ワースト2位の慢性的な渋滞が発生しており、広域アクセスのボトルネックとなります。



北大阪急行線の延伸は、まちづくりと都市交通の再編により、北大阪エリア全体が活気づきかけになります。

広域的な都市交通の再編

北大阪急行線の延伸を契機に、新名神高速道路やエキスポランド跡地にできるエンターテインメント施設からの新たな交通需要や、千里中央周辺の交通集中への対応が図られます。

1 既存バス路線の再編

千里中央に集中する路線バス・高速バスなどの一部を新箕面駅へシフトし、鉄道の利用促進と合わせて、新御堂筋の渋滞軽減、千里中央の交通施設機能の再編を図る

2 広域パークアンドライド

新箕面駅において広域パークアンドライドを展開し、鉄道の利用促進を行うことにより、北大阪全体の交通渋滞の緩和を図る

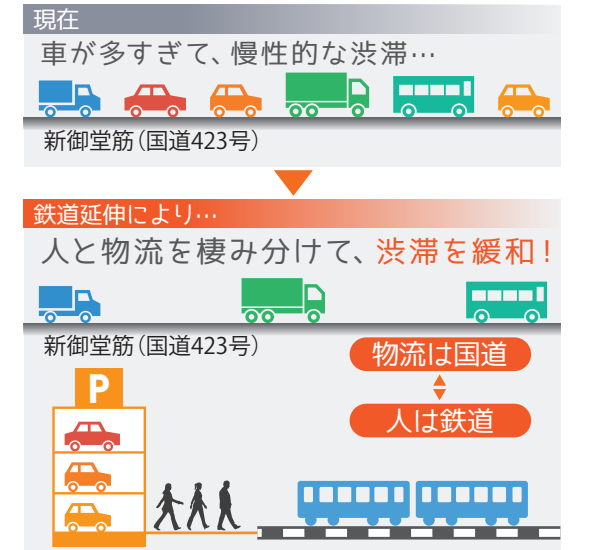
3 駅周辺の交通対策

- 千里中央の交通動線の再編・駐車場の再配置
- 箕面船場駅への歩行者動線の確保と自転車交通対策
- 新箕面駅の新たな交通施設整備と路線バス再編に合わせた公共交通の利用促進

鉄道で渋滞を緩和

北大阪急行線の延伸は、「人は鉄道」「物流は国道」の棲み分けに貢献し、新御堂筋(国道423号)の渋滞を緩和します。

パークアンドライドによる 渋滞緩和のイメージ



高い経済波及効果！

延伸線は、1日に約42,000人が乗降すると予測されています〔新箕面駅の利用者約14,000人、箕面船場駅の利用者約7,000人で、乗降人数は駅利用者×2(往復分)で算出。(鉄道事業者の需要予測による)〕。また、さまざまな経済波及効果も期待できます。

初期効果
2172億円

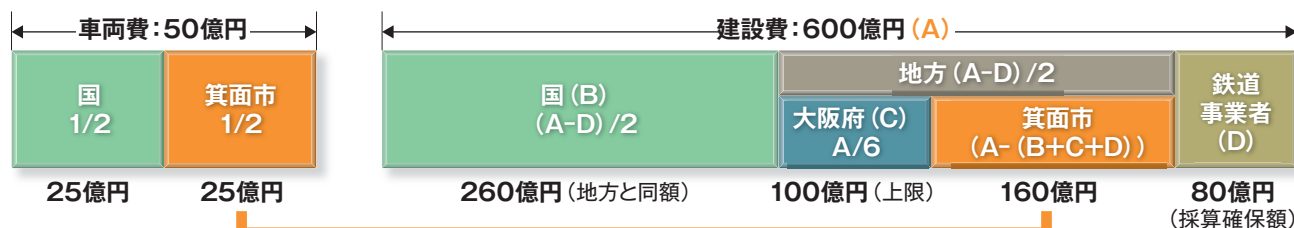
(地価上昇額と工事に伴う経済波及効果)

年間の効果
578億円/年

(商業施設の売上増、税収増など)

市の負担は“北急貯金”と 競艇収益金 で賄います

現時点で想定されている延伸の事業費は650億円（建設費600億円、車両費50億円）で、そのうち箕面市の負担は185億円です。

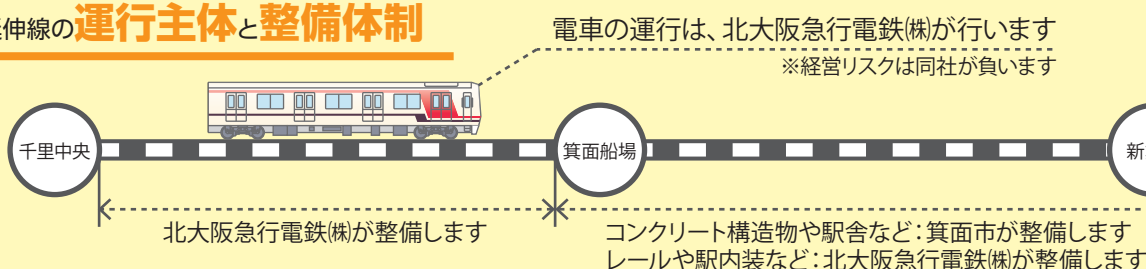


箕面市の負担想定額185億円
“北急貯金”と競艇収益金のみで賄います

関連まちづくりにより
 需要予測が伸びる場合は
 鉄道事業者は負担を増額

市の負担想定額185億円は、これまで貯めてきた北急延伸基金と、競艇事業からの収益金のみで賄うことができる見通しです。市は、この財源ルールを条例（箕面市財政基本条例）に定め、ずっと守り続けていきます。

延伸線の運行主体と整備体制



市民の皆さまの延伸実現への熱い思いが支えになります！

●寄付のお願い

安全で快適な暮らしを支える鉄道延伸事業を応援していただきたく、賛同いただける皆さまからの寄付をお願い申し上げます。インターネットやコンビニからでも寄付ができます。

なお、5,000円以上のご寄付をいただいた場合は、税控除を受けることができます。

詳しくは

●賛助会員募集！

北大阪急行線延伸推進会議では、北急延伸実現に向けて国や関係者などに働きかけを行っています。

賛同いただける地元自治会など、多くの皆さまに「賛助会員」になっていただきますようお願い申し上げます。

ご賛同いただける団体等ございましたら、推進会議（ページ下お問い合わせ先）までご連絡ください。

出張
説明会
のご案内

いつでも説明に伺います

10人程度集まっていれば、計画の内容や現在の進捗状況など、出張して説明させていただきます！お気軽にお問い合わせください。（ページ下お問い合わせ先まで）

北大阪急行線延伸推進会議（構成メンバー）

平成27年6月末現在

構 成 員 箕面市、箕面商工会議所、大阪北部農業協同組合、大阪船場繊維卸商団地協同組合

顧 問 地元選出府議会議員、市議会（議長・副議長・交通対策特別委員会委員長・同副委員長）

オブザーバー 大阪府

支 援 団 体 豊能町、能勢町、川西市、篠山市、猪名川町、亀岡市、南丹市、京丹波町

賛 助 会 員 かやの中央まち育て協議会、箕面青年会議所、箕面ライオンズクラブ、箕面船場ライオンズクラブ、箕面ロータリークラブ、箕面中央ロータリークラブ、箕面FMまちそでて(株)、箕面市観光協会、箕面市文化振興事業団、箕面市国際交流協会、大阪府宅建物取引業協会箕面支部、箕面測量設計協会、箕面市都市開発(株)、緑遊新都心(株)、東急不動産(株)、ウィル包装(株)、大和ハウス工業(株)北摂支店、弘伸商事(株)、(株)シュウロウライフ、大阪大学外国語学部、聖母被昇天学院、大阪青山大学・大阪青山短期大学、梅花女子大学・短期大学、関西大倉中学校・高等学校、追手門学院、早稲田摂陵中学校・高等学校、たんぼの綿毛の会、NPO街づくり支援センターみのお、箕面会、箕面市建設業協同組合、箕面市管工事業協同組合、稲西自治会、小野原自治連合会、宮崎自治会、若宮自治会、神楽自治会、岩戸自治会、大西自治会、日の丸自治会、大東自治会、日の出自治会、粟生間谷地区、奥自治会、川合自治会、中村自治会、山之口自治会、粟生新家自治会、粟生外院自治会、北浦自治会、芝自治会、今宮自治会、西宿自治会、今宮南自治会、如意谷第2自治会、箕面如意谷住宅自治会、今宮東自治会、白島自治会、石丸自治会、唐池公園地区自治会、今宮コミュニティクラブ、箕面東自治会、メゾン箕面青松園前自治会、西小路第三自治会、坊島泉自治会、新生自治会、坊島自治会、上止々呂美自治会、船場西地区連合自治会

お問い合わせ

北大阪急行線延伸推進会議（箕面市 地域創造部 鉄道延伸室）

〒562-0003 大阪府箕面市西小路4丁目6番1号 TEL:072-723-2121 (代)

FAX:072-722-7655